

「近畿歴史まちづくりサミット in 堺」を開催しました！

「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」の認定都市のうち、今回は堺市、彦根市、宇治市、広川町、高野町の首長が集まり、それぞれの都市の歴史、文化、伝統を活かしたまちづくりに関する新たな取組や今後の展望について意見が交わされました。多くの皆様にご来場いただき、近畿全体で歴史まちづくりの機運を高める有意義な場となりました。来年度の開催は、濱口梧陵「稲むらの火」の伝承と復興等の歴史的風致を擁する、和歌山県広川町です。

【日時】 令和2年2月1日(土) 13:00～16:00

【場所】 フェニーチェ堺 小ホール

【来場者数】 約200名

【主催】 近畿地方整備局、堺市

【協力】 一般社団法人近畿建設協会

【プログラム】

1. 開会挨拶 永藤 英機 堺市長、 井上 智夫 近畿地方整備局長
2. 基調講演「世界遺産登録を契機としたまちづくりの展望」宗田 好史 京都大学副学長
3. パネルディスカッション 「歴史文化遺産を守り・育む・まちづくり」
コーディネーター 宗田 好史 京都大学副学長
パネリスト 永藤 英機 堺市長、大久保 貴 彦根市長、山本 正 宇治市長
西岡 利記 広川町長、平野 嘉也 高野町長
4. 次回開催都市挨拶 西岡 利記 広川町長



会場の様子



パネルディスカッション



永藤市長の挨拶



井上局長の挨拶



宗田教授の基調講演



記念撮影